

- ・調査対象 主に東京23区内の会員中小企業 約10,000社
- ・調査方法 郵送による調査票の送付、メールによるWEBフォームの送付
- ・有効回答数 1,336社
- ・調査時期 2023年5月15日～6月22日

# デジタル人材を確保できていない中小企業は 61.9%

今回は、中小企業のデジタルシフトに向けた取組みについて、東京商工会議所が7月に公表した調査結果から、人材確保や外部リソース等の活用実態についてみてみたい。

## 人材、従業員のITリテラシー、コストが課題

デジタルシフト・DXの課題として、最も多かったのは、「旗振り役が務まるような人材がない」で33.8%、次いで、「従業員がITを使いこなせない」29.5%、「コストが負担できない」27.0%などが続いている。

また、デジタル人材の確保については、「確保できている」（十分確保できている＋ある程度確保できている）と回答した企業は37.9%、「確保できていない」（あまり確保できていない＋まったく確保できていない）と回答した企業は61.9%となっている。

## 外部人材・リソースは活用していない…… 37.7%

外部人材・リソースの活用状況では、「外部人材・リソースは活用していない」と回答した企業が37.7%、以下、「ITベンダー」が30.8%、「税理士・会計士」19.5%の順となっている。

活用しているリソース等で最も

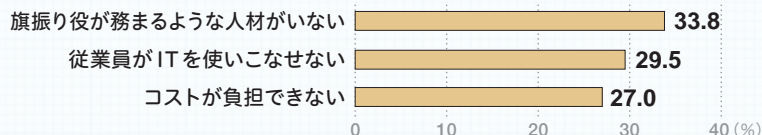
多かったITベンダーの選定にあたっては、「導入コスト」（65.7%）や「運用コスト」（61.9%）など、コスト面を重視する企業が多く、ITベンダーの対応力やサービス内容よりも、金銭的負担感が先に立っていることがわかる。

人材確保やコスト負担等、デジタルシフトを進めるうえで明らか

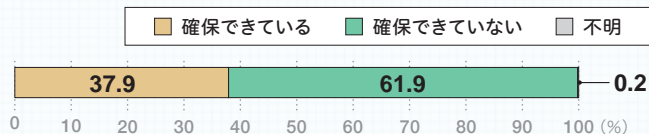
になったいくつかの課題は、中小企業に共通する経営課題でもある。時代の要請とはいえ、いまだ中小企業は十分にデジタル人材を確保できているとはいえず、デジタルシフト・DX実現へのハードルは高そうだ。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）

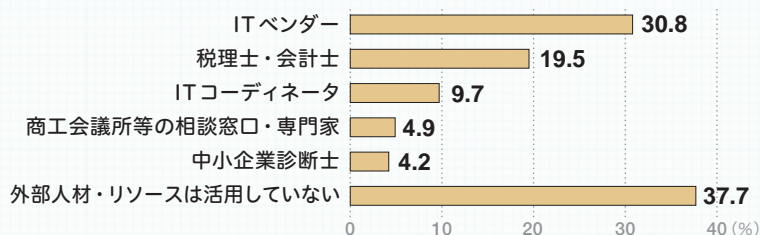
### デジタルシフト・DXの課題 【複数回答、上位3位まで (n=1,336)】



### デジタル人材の確保状況 (n=1,081)



### 外部人材・リソースの活用状況 【複数回答 (n=1,081)】



### ITベンダー選定にあたって重視すること 【複数回答、上位3位まで (n=1,081)】

